埼玉クラブの会員が年末年始に海外の友へ発信・受信した報告です。

沼 純子 さん

FF の渡航、受入れや埼玉大学の留学生受け入れなどで、これまで知り合った多くの人達と、メール、Facebook、Messenger などを通して交流が続いています。 日本語を勉強している韓国の Ahn さんとは日本語で、英語と日本語の教員資格をとったオーストラリアの Felix は現在北海道で教壇にたっています。2018年のニュージーランド語学研修でお世話になった FR の Debbie はとりわけ印象深いです。

アメリカ、カナダ、ベルギー、バルバドス、ベトナム、スリランカ、タイ、台湾、ノールウェイなど、外国の友人とのオンラインチャットが今の楽しみの一つになっています。

浜田 聖子さん <u>シンシナティのホストだったジェーンからのメールです。</u>

My very dear Seiko:

So good to hear from you. When I think of you I smile. I am so happy to hear that you and your family are well. As you know, I am never alone as my fur babies are here. I have a new dog that I inherited after my brother died names Buffy. She is 15 1/2 years old and is smaller than my cats. We are still restricted here but some rules have been lifted such as getting your hair cut. You wear masks and there is plastic between cutting stations, you must wait outside or in your car until they

call for you.

Do you have WhatsApp on your phone? Maybe we can talk.

Love, Jane

彼女の飼っていた犬が亡くなって、でも新しい犬が来たことを、喜んでいます。 残念ながら WhatsApp のアプリで話してはいませんが、コロナが収まったら必ず、 訪ねたいとおもっています。

堀切 京子さん

Hilary and Bill そして私

2012年の夏、私はイギリスのLeicestershire クラブに渡航した。

私が初めて彼らに会ったとき、親切なイギリス紳士と強いイギリス女性という 印象だった。Hilary はあまり愛想がなく私はどう接したらよいものかと、少し 戸惑いを感じたがBill はいつでもほど良く私に接してくれ私をほっとさせてく れた。

短い付き合いだったが、Hilary の内面は細やかな優しさの有る人と分かった。 そしてあれから7年が経った。

私たちは、時に思い出したようにメールを交わしていた。 そんな彼らが 2019 年、我家に1週間滞在することになった。 7年ものブランクが感じられなかったような再会だった。



最近のメールは専らコロナウイルスのことがほとんどだ。

レスターシャーは未だ最高レベルのリスクでショップは開いていても、パブや レストランは休業ということである。

それでもやっと予防接種が開始されることになったという。

私はFFの活動を通じて様々な国の人々と良い友達関係を育んできたと自負している。

人との出会いは人生を彩り豊かにし幸せを運んできてくれるのではないかと思 うのである。